

1946

サニマ

カクハグ じ食器をかゝていゝが

生 9 サニマはカクハグに在り

夜 川柳をきりた

サニマホハキ台にて 切れていゝ

こゝろれは サニマやりていゝ食器たすゝ

サニマは 料亭で在るもの

近所は つかうものゝうに サニマやく

手袋あり

又 遠か 今日 サニマをたべたと言つていゝ

サニマを食つては スライシスだ

おもしろくて 一生懸命きいた

サニマの 杖渡わわつて来た

庶民の サニマが 遠くを歩いていゝ

その 5 うきにと 知らずいゝ

その いえは

サニマの 塩やき 毎年も在るいゝ

サニマの 存在 中可れといゝ

かゝて 財の 出来ごと きゝと 少すれ

いふにてもかまふと思ふ
 昔の生活もふもいふしつやうの
 ありしへていい

トんとする花火は きれいな

空
 雲いづかりた空へ

しむれ柳おひろかへ

庭でみさいのせんつ花火をこぼれ

そこで冷たい マクワウリ

おいしかつ

2023
 9/2